

野村不動産 会社案内

NOMURA REAL ESTATE
DEVELOPMENT

「人々の“幸せ”と社会の“豊かさ”の最大化」を目指し、 価値創造の変革を推進してまいります。

野村不動産は1957年の創業以来、宅地造成を起点に多様な事業へ挑戦し続け、総合デベロッパーとして歩みを進めてきました。

65年以上にわたり、社会の要請とお客様の期待に応えながら、柔軟な発想で新たな価値の創出に努めております。

住宅事業では、分譲マンション「プラウド」を中心に、一戸建てやシェア型賃貸、賃貸シニアレジデンスなど、多様なライフスタイルに寄り添う住まいを提供しています。ホテル事業では、グループ会社のUDS社の企画力を取り入れ、新たな成長領域へと発展しています。

都市開発事業では、「BLUE FRONT SHIBAURA」をはじめとした大型オフィス、中規模・小規模オフィス（PMO・HIO）、シェアオフィス（HIT）などを組み合わせた独自のポートフォリオ戦略を推進。また、商業施設「GEMS」、物流施設「Landport」、など幅広い領域で開発と運営を強化しています。市街地再開発や複合開発では、「日本橋一丁目中地区」「西麻布三丁目北東地区」などの大型プロジェクトが進行しており、エリアマネジメントによる地域コミュニティ支援にも取り組んでいます。

さらに、国内で培った実績を活かし、東南アジアを中心に8か国にて事業を展開しています。東南アジアでは住宅分譲を、米国・英国では収益不動産開発を進め、特に、住宅不足が社会課題となっている英国ロンドンにおいては、BTR（賃貸住宅）事業にも参入しました。グローバルなパートナーとともに、各地域のニーズに応じた価値提供を進めています。

また、多様化するデベロップメント機会の獲得と新事業領域の創出に取り組んでいます。東京都の「空飛ぶクルマ実装プロジェクト」では代表コンソーシアムに選定され、次世代モビリティの実装を推進中です。また、アフォーダブル住宅供給促進ファンドの運営事業にもデベロッパーとして唯一選定され、東京都と共に幅広い住宅ニーズに応える取り組みを進めています。

一方で、地政学リスクや建築費・人件費上昇、価値観の多様化など、社会・経済環境は急速に変化しています。

こうした環境下において、当社グループは「まだ見ぬ、Life & Time Developerへ ― 幸せと豊かさを最大化するグループへ ―」という2030年ビジョンを掲げ、価値創造のあり方そのものを進化させています。具体的には、お客様を起点とした3つの変革「商品とサービス両面でのお客様視点の追求」、「お客様を軸としたグループ連携」、「お客様との持続的な共創と進化」を推進してまいります。

2025年8月には本社を「BLUE FRONT SHIBAURA」へ移転いたしました。

新本社は、持続的な成長と新しい働き方を具現化する拠点であり、お客様と社会の“幸せ”と“豊かさ”を一層高めていくための重要な舞台です。社員のウェルビーイングと挑戦する風土を育みながら、これからも価値創造に取り組んでまいります。

今後とも、野村不動産および野村不動産グループへの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



野村不動産株式会社
代表取締役社長

松尾 大作

まだ見ぬ、 Life & Time Developerへ ― 幸せと豊かさを最大化するグループへ ―

当社グループは、不動産開発や関連サービスの提供を通じて、
お客様一人ひとりの生活や時間に寄り添うことを大切にしてきました。
今多くの社会課題に直面し、お客様の生活スタイル・価値観も多様化する中で、
わたしたち自身もまた、変化していく必要があります。

人びとの様々な生活 "Life" 一人ひとりの過ごす時間 "Time"

この2つを軸として、今まで以上に深く、グローバルに、新たな価値を創造する
「Life & Time Developer」へと、自ら変革していきます。
そして、その変革を通じて、
人びとの「幸せ」と社会の「豊かさ」の最大化を追求していきます。

野村不動産の街づくり

更なる成長が期待されるバイエリアと東京都心部の結節点「つなぐ“まち”」を目指す。

東京都心部における空と海の最前列である「BLUE FRONT SHIBAURA」が持つ、圧倒的な開放感。
水辺ならではのライフスタイルを創造し、これを広め、東京のバイエリアをつないでいきます。

BLUE FRONT SHIBAURA

国家戦略特別区域計画の特定事業

※JV事業



完成予想図

本プロジェクトは、浜松町ビルディング(東芝ビルディング:東京都港区芝浦1-1-1)の建替事業として、高さ約230mのツインタワーを建設します(「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S」:2025年2月竣工済、「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER N」:2030年度竣工予定)。
区域面積約4.7ha、延床面積約55万㎡の、約10年間に及ぶ大規模複合開発です。立地の特性を活かし、バイエリアと東京都心部の結節点「つなぐ“まち”」の創出を実現すべく、エリアマネジメント活動を通じ地域のステークホルダーの皆さまとの共創型のまちづくりを推進するとともに、舟運ネットワークの拡大にも取り組みます。
「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S」高層階にはラグジュアリーホテル「フェアモント東京」が日本初上陸。中層階には“TOKYO WORKation”をテーマに都内有数のオフィスフロアを用意。1フロア(約1,500坪)に広がる自然環境を活かした共用部が特徴。商業エリアには“まちのコミュニティハブ”をテーマに約30店舗を誘致。食事以外にもパブリックスペースとして、心地よい時間をお過ごしいただけます。

BLUE FRONT SHIBAURA

「BLUE FRONT SHIBAURA」概要

■区域面積	約47,000㎡
■延床面積	約550,000㎡
■主用途	オフィス・ホテル・商業秘説・共同住宅・駐車場 他
■建物の最高高さ	約230m
■階数	TOWER S:地上43階・地下3階 TOWER N:地上45階 地下3階
■着工および竣工(予定)	TOWER S:着工:2021年・竣工:2025年2月 TOWER N:着工:2027年度・竣工:2030年度
■事業者	野村不動産株式会社、東日本旅客鉄道株式会社

都市と自然。人と人。そして、新しいあしたを“つなぐ”まち

「BLUE FRONT SHIBAURA」は、陸・海・空を結ぶ交通結節点として、東京の新たな顔となる大規模複合開発です。この場所は、陸・海・空の交通拠点、まちづくりの拠点、東京観光の拠点となるHUB的な役割を果たします。都市と自然。人と人。そして、新しいあした。あらゆる“つなぐ”を創造するまちづくりを推進していきます。地域・官・民連携によるエリアマネジメント活動を通じて、芝東京ベイ及び東京バイエリア全体での回遊性向上による住民・来街者の移動、人々の交流、地域資源の活用、文化体験の提供を実現していきます。

3地区連携による「芝東京ベイ」の活性化

「浜松町・芝大門地区」、「竹芝・芝浦地区」が一体となることで、地域共通の課題の解決やエリアの価値向上を目指し、「新たな回遊性向上施策」「地域資源を活かしたコンテンツ開発」「スマートシティサービス導入」などの活動を行っていきます。



浜松町・芝大門地区



完成予想図

舟運ネットワーク

バイエリアと東京都心部をつなぐ、東京の中心(center)。日の出ふ頭や芝浦運河と近接した立地を生かし、新たな交通手段として注目される舟運の活性化に取り組み、バイエリア各地の水辺をつなぎます。水辺の空間を最大限に生かし、ツインタワーの足元には親水空間を設計。テラスや船着場、新たに造船中のラグジュアリーなオリジナル船も加わります。日の出ふ頭の小型船ターミナルに面した「Hi-NODE(ハイノード)」、晴海と芝浦・日の出を約5分で結ぶ舟運サービス「BLUE FERRY」によって、気軽に水上交通を利用できます。



働く人・集う人の社会的価値創造へ向けて

日本初上陸のラグジュアリーホテル 「フェアモント東京」

世界でレガシーを築き上げてきたフェアモントが「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S」高層部に日本初上陸。「フェアモント東京」は、西に東京タワー、東に東京湾を望む絶好のロケーションに、217のゆったりとした客室、エグゼクティブフロア、レストラン&バー、インフィニティプール、都内最大級の宴会場など充実した施設を備えます。都心の活気と湾岸の静寂が美しく調和した空間です。



フェアモント東京

完成予想図

ひとりひとりの働き方に、新しい風を。 “TOKYO WORKation”という、ワークスタイル

働く人の生産性向上やリフレッシュ効果が期待される、“WORK + vacation”という働き方。そのチカラを、この街がさらに高めていきます。それが、新たなワークスタイル“TOKYO WORKation”。東京の高い利便性、空と海がもたらす快適性を掛けあわせる。リラックスしながら思考を整え、アイデアや可能性が沸き起こる。都市の刺激×自然の癒しを、ビジネスの活力へ。理想の働き方がここから始まります。



完成予想図

竹芝・芝浦地区

地域とつながる“まちのコミュニティハブ” SHOPS&RESTAURANTS

四季を彩る豊かな自然と爽やかな運河を身近に感じる「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S」1・2・3階には、多彩なショップ&レストランが広がります。地域とつながる“まちのコミュニティハブ”をテーマにした開放的な空間で、ひとりひとりの「好き」や、みんなが集い、語らう社交場として、穏やかなひと時を過ごしなが、新しい出会いや発見に溢れる心豊かな時間をお届けします。ワーカーや近隣の方々、観光客、お子さまやペットまで、多様な人たちをひとつにつなぐ多彩なコミュニティイベントも開催します。

ひとりの笑顔を変え、社会の力に 都市と自然が響きあう、「TOKYO&NATURE」

「BLUE FRONT SHIBAURA」は圧倒的な解放感を感じる空と海が広がります。ここに集う人々が、生き生きと自分らしく過ごせるライフスタイルを創造していきます。都市の利便性と自然の豊かさが融合する。「TOKYO&NATURE」という考え方を、まちのすみずみへ。空や海、そして緑。豊かな自然に触れることで心身が癒され、活力がみなぎる。そして、新しいあしたを切りひらく原動力となるように。「ひとりの笑顔を変え、社会の力に響きあう」こそが、私たちの実現したい未来です。

2025年、野村不動産グループの本社機能を 「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S」へ移転

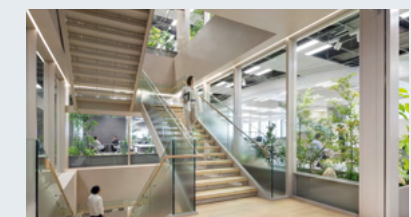


壁のないオープンな空間

野村不動産グループは、2030年ビジョン「まだ見ぬ、Life&Time Developerへー 幸せと豊かさを最大化するグループへー」の実現に向けて、その基盤となる組織、そして社員一人ひとりの継続的な成長が不可欠であると考えています。こうした未来志向の取組みの一環として、2025年8月に本社機能を「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S」へ移転しました。この新拠点が持つ高いポテンシャルを活かし、よりチャレンジングな組織風土の醸成と、組織・社員のパフォーマンス最大化を図るとともに、グループ各社の連携をさらに深め、横断的な価値創出を加速させていきます。

オフィススペース（執務空間）

「CROSS-BORDER For Tomorrow」の実現のため、人や情報が自然と集まり、連携しやすいレイアウトを用意。多様な人がつながり、価値観を共有しながら、次のアイデアを生み出すオフィススペースを目指しています。



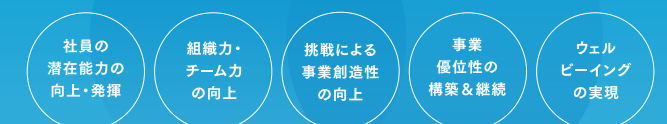
内階段



UZU家具

都市と自然が融合するこの街で まだ見ぬ、価値創造へ。

会社や組織の壁を越え、グループ同士が連携し、新たな価値を生み出すために。新本社への移転コンセプトは“CROSS-BORDER For Tomorrow”。人が集まり、つながり、進化する場所として、さらなるグループ間の連携を目指します。



本社移転を通して、目指したい5つの価値

自ら成長し「自走できる街」をつくる「BE UNITED構想」

街づくりの進化を模索し、開発エリアの持続的な活性化を目指すために「シビックプライド」の考え方を基に生み出された、野村不動産独自の街づくり「BE UNITED構想」を策定。一つひとつの街づくりにおいて具現化しています。

プラウドタワー目黒MARC MEGURO MARC



プラウドタワー目黒MARC

野村不動産グループとJR東日本グループが
共創してつくりあげた街「MEGURO MARC」。
約2.0haの敷地に、オフィス棟、賃貸マンション棟、
分譲マンション棟(プラウドタワー目黒MARC)の
3つからなる複合開発です。
3棟に囲まれた中庭「MEGURO MARC GARDEN」は、
街区で働く人や住む人、来街者に開かれた
多目的な場として提案しています。

「プラウドタワー目黒MARC」概要

■建設地	東京都品川区西五反田三丁目
■交通	JR山手線「目黒」駅徒歩9分
■総戸数	301戸
■規模	地上32階地下1階建
■敷地面積	7,711.42㎡
■用途	住宅、商業
■竣工時期	2023年8月

自然環境や生物、人と地域。様々な視点から、いい関係を育む緑豊かな街づくり

JR「目黒」駅徒歩9分、城南五山「花房山」として知られる都心の邸宅エリアに、住まいと働く場所が共存する多様性のある街を目指した「MEGURO MARC」。広大な敷地内には3棟を取り巻くように多彩な緑地帯が配置されています。「プラウドタワー目黒MARC」敷地内には、緑豊かな66mのロングアプローチやカツラが彩る「MEGUROMARC GARDEN」を設え、空地率82%を実現。生物多様性に配慮したこの取組みにより、街全体でABINC認証^(※)を取得しています。

※ABINC(エイピンク):自然と人との共生を企業活動において促進することを目的に「いきもの共生事業推進協議会(ABINC)」が評価・認証する制度



プラウドタワー目黒MARC(ラウンジ)

末永く快適に過ごせるタワーライフを実現 4つの品質を叶えた「プラウドタワー目黒MARC」

「プラウドタワー目黒MARC」は、街区内で最も高い棟であり街のランドマークとしてデザイン。全周にラウンドバルコニーを巡らせ都心のタワーレジデンスにふさわしい象徴的で優美なタワーフォルムを創出。300㎡超のラウンジやホテルライクな内廊下等、上質な住空間を設えさらに、免震装置により地震動を低減する「免震構造」、住戸内の可変性を高める「スケルトン・インフィル」を導入。また環境負荷の軽減等を目的とした国の認定制度「長期優良住宅」や生活に伴って発生する二酸化炭素の抑制を図る「低炭素建築物」認定を受けています。万一来に備えた安心と、末永く快適に過ごせるタワーライフを叶えます。



MEGURO MARC GARDEN(中庭)

一般社団法人「MEGURO MARC」を設立 地域に開かれた中庭を基点に将来につながる持続的なまちづくりを推進

「プラウドタワー目黒MARC」の敷地・建物内には、街区で働く約2,000人のオフィスワーカーや500世帯の住人、来街者等に開かれた多目的な場を設けています。多様な人々の居場所であり、エリアマネジメントの基点となる場所として「MEGURO MARC GARDEN」や活動を前提に設えたレンタルスタジオやホール等を用意。さらに、一般社団法人「MEGURO MARC」を立ち上げ、本法人が主体となって地域活動を実施していきます。街区全体で目指す姿を設定し、将来につながる持続的なまちづくりを実現します。



一般社団法人「MEGURO MARC」によるコミュニティ活動の様子

プラウドタワー亀戸クロス KAMEIDO CLOCK

本敷地は1939年～1993年まで、モノづくりの拠点として、第二精工舎(現・セイコーインスツル)の東京工場が存在していました。その後、工場閉鎖に伴い、地元の方にも愛される商業施設「サンストリート亀戸」に生まれ変わりました。イベントの聖地、アイドルの聖地、コトづくりの拠点として地域の方に長らく愛されていましたが、2016年3月31日に惜しまれつつも閉館となりました。

「プラウドタワー亀戸クロス」概要

■建設地：東京都江東区亀戸六丁目 ■交通：JR総武線「亀戸」駅徒歩2～3分
■総戸数：934戸 ■規模：地上25階地下2階 ■敷地面積：22,989.26㎡
■用途：住宅、商業、HIT ■竣工時期：2022年1月

コミュニティ形成と未来を見据えた 価値創出がまちづくりのコンセプト

開発前からの地域課題「生活利便施設の不足」「急増する児童数」に対し、行政や住民と協議し「亀戸六丁目まちづくり方針」を策定。
総戸数934戸の「プラウドタワー亀戸クロス」を核に、「KAMEIDO CLOCK」や広場、貫通道路、第二亀戸小学校の増築用地を整備し、地域共生型の街づくりを行いました。

新旧住民や来街者が交流し、 地域コミュニティを創り出すための仕掛けづくり

「KAMEIDO CLOCK」は、サンストリート亀戸が担っていた地域の方々の交流の場を継承。3,400㎡の広場や260インチ大型ビジョンのある室内広場等で、年間約600のイベントを実施しています。
また、住宅棟4階には「Be ACTO(ビーアクト)」の活動拠点「まちのリビング」を開設し、新旧住民をつなぐコミュニティづくりを通じて、未永く愛されるまちづくりを目指します。

プラウドシティ武蔵浦和ステーションアリーナ



「プラウドシティ武蔵浦和ステーションアリーナ」概要

■建設地：埼玉県さいたま市南区沼影一丁目 ■交通：JR埼京線・武蔵野線「武蔵浦和」駅徒歩1分 ■総戸数：277戸 ■規模：地上19階地下1階
■敷地面積：5,597.36㎡ ■用途：住宅、商業 ■竣工時期：2024年4月

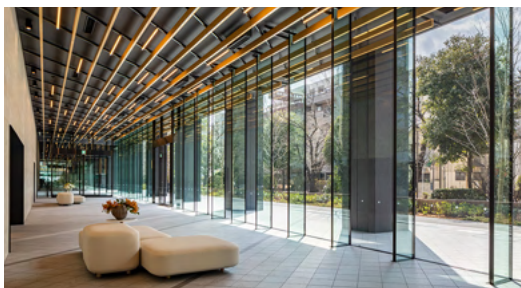
JR「武蔵浦和」駅と直結する「プラウドシティ武蔵浦和ステーションアリーナ」。商業棟と事務所棟を併設した大規模複合開発です。街に開かれた広場等を設え、新しい拠点となるよう計画しました。

街の活動拠点「マチノバ」をフィールドに 産学民連携プログラムを実施

レンタルスペースやシェアキッチン、ラウンジ等を備えるエリアマネジメント活動拠点「Be ACTO武蔵浦和『マチノバ』」を、マンション3階に設置。地域住民のシビックプライド醸成に向け、埼玉大学の学生がBe ACTOの運営に加わり、コミュニティ促進のイベントを企画・実施しました。



プラウドタワー亀戸クロス・KAMEIDO CLOCK



プラウドタワー亀戸クロス(エントランスラウンジ)



ステージを擁する広場

野村不動産のエリアマネジメント

コミュニティの活性化を実現する「Be ACTO」

Be ACTO

野村不動産では、多様なコミュニティの形成・活性化が地域や街の価値をより一層高めると考え、街づくりを推進しています。その実現を目指し、エリアマネジメント活動の一つであり、地域住民の方々が主体となって活動する当社独自の仕組み「Be ACTO(ビーアクト)」を導入しました。

「Be ACTO」は、野村不動産グループが運営に伴走するエリアマネジメントの仕組みです。地域活動の拠点となる「場」と、新しい関係を後押しする「人」により、地域の方々の主体的な活動を支援。「コアパートナー」をはじめ、住民、教育機関、行政、企業が一体となり、暮らしを起点とした街づくりを進めています。



「Be ACTO 亀戸」でのイベント風景

「空飛ぶクルマ」 ANAと連携した出張授業

ANAホールディングス協力のもと、空飛ぶクルマについて小学校での出張授業を実施。子どもたちが将来の夢や未来を考えるきっかけづくりを目指しています。



「空飛ぶクルマ」

農産物共同配送の実証実験開始 配送コスト・食品ロス軽減へ

「プラウドシティ日吉」にて、全国の食材を業務用配送便で共同配送し、特定場所受取を活用する実証実験を実施。人的・再配達負担の削減や、食品ロス軽減に繋がる取り組みです。



農産物共同配送

地方とエリアマネジメント拠点との 新しい接点を創出する取組み

「Be ACTO日吉」では、マンション内広場を活用し、米沢市主催の「ミニ上杉まつりin日吉」を開催。特産品販売やワークショップを通じ、地域を越えての出会いが生まれています。



ミニ上杉まつり

野村不動産の教育プログラム

まちをみるめ

他者の「みるめ(視点)」で街を観察し、街への興味・関心を育む教育プログラム。小学校で出張授業を行い、グループ社員が子供たちと街をいっしょに考える取り組みです。



他者の「みるめ(視点)」での校内観察

まちおに

参加者全員が楽しめる鬼ごっこのルールづくりを通じて、多様性やコミュニケーション能力を育むプログラムです。



みんなで考えた鬼ごっこの実践

推しの木

埼玉大学と共同開発した小学校向け授業プログラム。自分の「推しの木」を調べて発表し、「推しの木図鑑」として地域に公開しています。



大学生によるプログラム開発

野村不動産の開発力

多彩な開発実績をもとにその土地の可能性を広げ資産価値を向上する

一つとして同じものが存在しない不動産において、土地ごとにベストな提案を行い、資産価値を高めるとともにその土地の持つ課題を解決していくこと。野村不動産はマンションやホテル、オフィス、商業施設、物流施設など様々なアセットにおける多様なブランドと、これまでの実績のもとに培われたグループ連携による多彩なアイデアで、皆様の想いに応えます。



「西麻布三丁目北東地区第一種市街地再開発事業」工事の様子

市街地再開発事業

市街地再開発事業は、道路や広場などの公共施設整備や木造密集地域の不燃化などにより、長年にわたり地域が抱えている課題を解消し、安心・安全な「まち」に再生するプロジェクトです。野村不動産では、社員が地元に着目し、行政との協議や、権利者の合意形成をご支援し、地域の発展に貢献できる街づくりの実現に向けて取り組んでいます。



ブラウドタワー川口クロス

マンション再生等事業

老朽化マンションの増加が社会課題となるなか、再生等を促進する法整備もすすんでいます。野村不動産は、業界トップクラスの実績で得た知見と多様な提案力、最後まで事業を完遂する推進力で、区分所有者の皆様と共にマンション再生等を実現します。



ブラウドシティ小竹向原



ブラウド浦和



ブラウド苦楽園 ※JV事業

等価交換事業

土地所有者様からご提供いただいた土地に、野村不動産の負担でマンションを建設し、土地評価額に相当する区分所有権をお戻しします。最適な土地活用を皆様と一緒に考え、完成後の管理・運営ノウハウも活かして土地所有者様をサポートします。

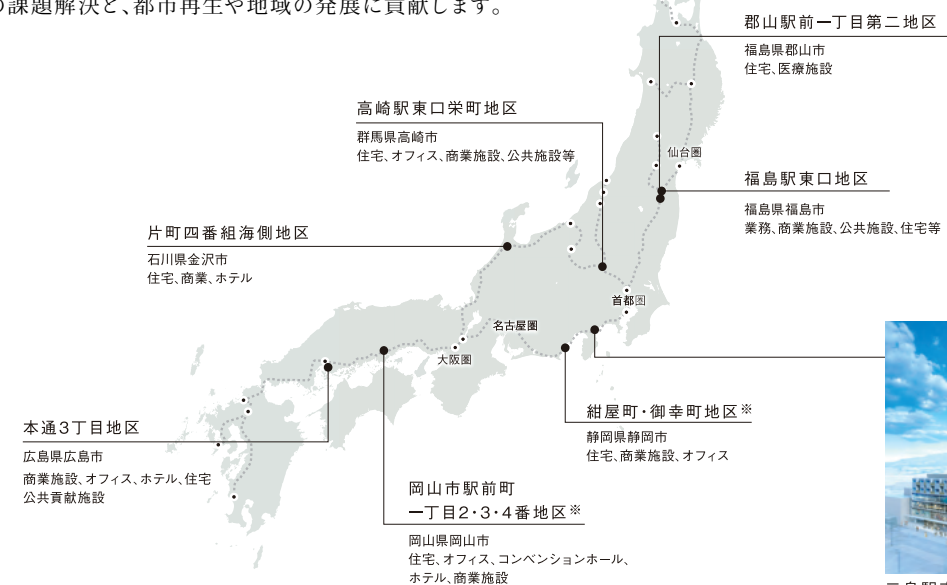
定期借地権事業

野村不動産が土地所有者様から期間を定めて土地をお借りし、建設費や事業経費を負担して定期借地権付きマンション等を建設・分譲し、地代をお支払いします。期間満了後は土地が返還されるためリスクも少なく、土地所有者様の要望に応じた提案で価値ある土地活用を実現します。

日本各地における再開発

地方中核都市の中心部での再開発事業に参画し、持続可能な街づくりに取り組んでいます。

新幹線停車駅などの駅前エリアで再開発事業に参画。人口減・高齢化が進む地方都市において、地元の意向を汲み取りながら街の課題解決と、都市再生や地域の発展に貢献します。



〔※〕はJV事業



三島駅南口東街区A地区※
静岡県三島市
住宅、商業施設等

分譲住宅

上質な住まいにこだわり続け、
住むほどに愛される
生涯品質の住環境を提供

野村不動産グループでは、
製販管一体の強みを活かし、
首都圏を中心とした新築分譲マンション「プライド」、
新築分譲戸建「プライドシーズン」等を展開。
ご入居後も独自のアフターサービスを提供するなど
社会課題の解決に取り組んでいます。



プライドタワー相模大野クロス

PROUD

新築分譲マンション

お客さまの未来を想い、
製造・販売・管理の一貫体制で
たったひとつの住まいづくりを

2003年に誕生した野村不動産のマンションブランド「プライド」では、理想の住まいづくりを追求する上で、守り続けていることがあります。それは、野村不動産グループによる製造・販売・管理の一貫体制でお客さまに寄り添い続けるということです。着工から竣工まで数百の項目を専門のスタッフがチェックし、さらに多くの検査を行うことで住まいの品質維持に取り組んでいます。また、竣工後のアフターサービスも野村不動産自らが責任を持って行う体制をとり、入居後は「野村不動産グループカスタマークラブ」などにより多面的にお客さまをサポートしています。住まいの完成も、お客さまの入居もゴールではなく、スタート。日々、挑戦しながらたったひとつのかけがえのない住まいづくりに取り組んでいます。



プライド白金長者丸



プライドシーズン成城五丁目

PROUD
SEASON

新築分譲戸建

美しさと安心。
そして住むほどに愛着を育む
街並みづくり

野村不動産の戸建ブランド「プライドシーズン」は、いつまでも、どなたにも快適な暮らしをお届けするために、お客さまの声に耳を傾け商品企画を行っております。住むほどに深まる愛着、使い込むほどに馴染む風合い。外観はもちろん、樹々の一本一本、建物の細部に至るまで吟味し、時を重ねるほどに深みを増す住まいを創造しております。また、人とその地によって培われてきた街それぞれの趣。その土地が持つ個性に合わせて住まう方には誇らしく、街の方々にも親しまれる美しい街並みを描き出します。

OHANA

郊外型
新築分譲マンション

家族の時間を育む
上質な郊外型マンション



オハナ高尾

郊外型新築分譲マンションブランド「OHANA(オハナ)」。幅広い世代のお客さまへ、快適で安心できる住まいを魅力的な価格で提供することを信念としています。建物設計や長期間のアフターサービスなど心地よい暮らしのための基盤づくりをトータルに提案していきます。

マンション建替

マンション事業で培った経験と実績で大切な暮らしを未来につなぐ

築年数30年を超えるマンションは全国に250万戸あるといわれ、耐震強度不足や老朽化が社会問題となっています。野村不動産では、街づくりのノウハウを活かし、権利者や事業関係者と共に、安心して住み継ぐ住まいの実現に取り組んでいます。



プラウドシティ阿佐ヶ谷

※JV事業

リノベーション事業

「住まいの改修」にとどまらず、性能向上や間取り変更、ライフスタイルに合わせた住まいづくりを通じて、大切な住まいを新たな人・家族・未来へとつなぎます。



施工事例イメージ

土地活用のご案内

「守る」「築く」「活かす」…お客様一人ひとりのニーズに応えた、価値ある「土地有効活用」をご提案いたします。



プラウドシティ東雲キャナルマークス

賃貸住宅

理想の生活を叶えていただくために、
利便性の高い立地や上質な空間など、
暮らしやすい環境と
住まい空間を兼ね備えた、
質の高い賃貸住宅を提供。

商品企画から運営管理まで、
野村不動産グループによる一貫体制により、
満足頂けるライフスタイルを育んでいただけます。



プラウドフラット中野

PROUD
FLAT

都市型賃貸住宅

暮らしやすく、使いやすく、美しく。
プラウドのノウハウを活かした
都市型賃貸住宅

お客様の未来を想い、住み心地やプランニングなど「住まい手の生活に関わるすべて」をデザインした「プラウドフラット」。目指したのは、その街に住まう人のライフスタイルを第一に考えた、機能的で暮らし心地のよい環境です。野村不動産グループの豊富なノウハウでつくる確かなクオリティが、目に見える造形の美しさに留まらない、住まう人のライフスタイルそのものを上質にします。暮らしやすく、使いやすく、美しい住まいを描くため、プラウドフラットはこれからも成長し続けます。



トモア品川中延

プライベート、くつろぎ、ワーク、交流を1つの住まいでかなえる、
新たな“ひとり暮らし”を提案するコリピング賃貸レジデンス

「ひとり暮らしを、ひらく暮らしに。」をコンセプトとする、シェア型賃貸住宅とコワーキングスペースが融合した職住一体の大型賃貸レジデンス。コンパクトでありながら機能性を高めた居室、ひとりでもみんなでも快適に過ごせるコリピングスペース、快適なワーク環境とコミュニティ体験をかなえるコワーキングスペースの3つの空間が、都心での新しいひとり暮らし空間を提案します。また専属運営スタッフが入居者との日々のコミュニケーションから入居者同士の交流や活動の橋渡しまで、「TOMORE(トモア)」でのコミュニティ体験をサポート。さらに、当社グループ企業をはじめ、他企業様とのサービスやコラボレーションの実施により、より豊かな生活体験を提供します。



賃貸住宅ブランド
コリピング
賃貸レジデンス

野村不動産パートナーズ

野村不動産グループの賃貸住宅
暮らしやすさに配慮した機能的で利便性に富んだ都市型の賃貸住宅をご紹介します。

住宅関連サービス



暮らしと住まいの未来をひらく。

ネットで住みかえ ノムコム
nomu.com



野村不動産グループの
暮らしと住まいの総合サイト

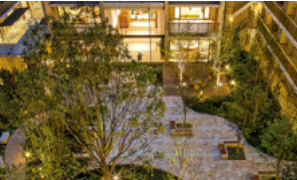
一人ひとりの今と未来を
応援するために、「暮らし」と
「住まい」に役立つ情報を
発信する総合サイトです。

nomu.com

不動産の購入・売却などの
住宅情報なら「ノムコム」に
お任せください。

インテリアサービス

インテリアアドバイザーによる
コーディネートから、ご購入後の
アフターケアまで承ります。



マンション管理

ビル・マンション管理、
プロパティマネジメント、
建築事業など、建物全般の
運営管理を担っています。



リフォーム

プロの技術と経験を活かし、
多様なリフォームのご要望に
お応えします。



ファースト リビング
アシスタンス

「住まいと暮らしの駆けつけサ
ービス」を提供し、クライアント企
業の価値向上に貢献します。

シニア住宅

シニアの想いと家族の願いにこたえる、
“住むだけで身心ともに自然と健康になれる”
仕組みを設けた住まいを提供

人生を、謳歌する住まいというコンセプトの
健康増進型・賃貸シニアレジデンス
「オウカス」を推進しています。
野村不動産グループの住まいづくりのノウハウや、
健康維持・増進に関する幅広い知見により、
健康と自由を両立する、
新しい住まいのかたちをお客様にお届け致します。



オウカス世田谷仙川

OUKAS

健康増進型・
賃貸シニアレジデンス

健康は、住まいで叶える。
目指したのは
“住むだけで身心ともに
自然と健康になれる”住まい。

利便性の高い立地に上質な建物と豊かな時間が過ごせる多彩な共用施設を備え、
「運動」「食事」「コミュニティ」「医療介護連携」の4視点から、身心の健康に寄与する
「オウカス・ウェルネスプログラム」を提供。健康寿命の延伸を通じて、ご入居者様が
楽しく、安心・安全に過ごせる毎日を支援します。また地域の人々のwell-beingを
高めるまち「SETAGAYA Qs-GARDEN」内の「オウカス世田谷仙川」は木造
の共用棟や敷地に既存樹を残すなど杜と親和性のある建物が、「グッドデザイン賞
2023」および仏リード・ミデム社主催「MIPIM Asia Awards 2024“GOLD”」を
受賞しています。

介護付有料老人ホーム

ご入居者の方々に豊かで潤いのある
最良の人生を創造していただくため、
最適かつ高品質な介護サービスを提供しています。

株式会社 JAPANライフデザイン



※株式会社JAPANライフデザインは、平成29年3月1日付けで野村不動産ホールディングス株式会社と資本提携及び業務連携を開始
(株式会社創生事業団51%、野村不動産ホールディングス株式会社49%)

ホテル

「宿泊」のニーズを満たすだけでなく、
各地域の多彩な魅力を世界に向けて発信
その街の環境をも豊かにしていく
施設づくりを展開

世界の人々と地域を繋ぐライフスタイルホテル
「NOHGA HOTEL(ノーガホテル)」や自然と調和した
日本の伝統美を追求した「庭のホテル 東京」など、
上質な滞在体験と空間を提供することに
こだわるホテルを開発・運営。
自社の開発力と運営力により
野村不動産ならではの独創的なホテル事業を
展開しています。



NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO

NOHGA HOTEL

ノーガホテル

「地域との深いつながりから生まれる
素敵な経験」がコンセプト
世界と地域を繋ぐライフスタイルホテル

野村不動産グループでは、不動産の取得・保有とホテル運営をそれぞれ
専門会社が担う体制を構築。野村不動産が不動産の取得・保有を行い、
野村不動産ホテルズがホテル運営を担います。運営面では、野村不動産
ホテルズが採用・育成したスタッフがサービス提供し、グループ一体と
なり質の高いホスピタリティの実現に取り組んでいます。また、ホテルの
商品企画・開発についても野村不動産ホテルズと連携しながら推進し
ており、コンセプト策定・サービス設計に至るまで、お客様ニーズを捉え
た魅力あるホテルづくりを推進。グループ各社の専門性を結集し、不動
産価値と宿泊体験の双方を高める事業運営を実現しています。



庭のホテル 東京
HOTEL NIWA TOKYO

「ここに、庭を。」
都心にありながら、訪れた方の心に
余白が生まれる時間をご提供します

1935年創業の日本旅館をルーツに持つ、和のライフスタイル
ホテルです。古来「庭」は、生活の中で自然を感じながら寛げる
憩いの場でした。庭のホテルは、旅先でも上質な日常をお過
ごしいただきたいという想いから、「ここに、庭を。」をコン
セプトに掲げ、まるでホテル全体が庭のように、心に余白が
生まれる上質な時間をご提供します。



庭のホテル 東京

オフィス

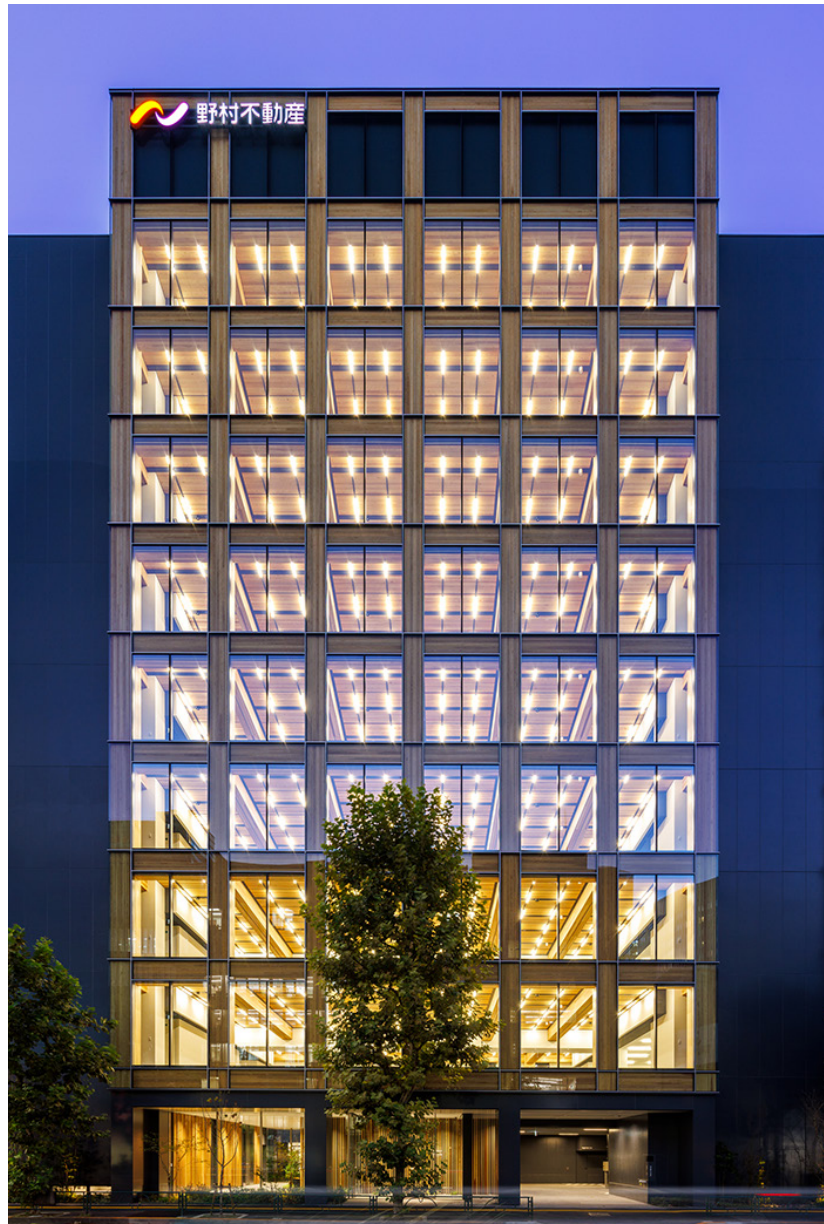
働き方の多様化に伴い、
用途に応じて複数オフィスを組み合わせて
生産性を高める方法を提供

企画開発や設計監理、テナント誘致から
運営・管理までを手掛け、オフィスビルの新たな価値を
創造するビルディング事業を展開しています。
「BLUE FRONT SHIBAURA」をはじめとする
大規模複合開発や都心部の大規模オフィスビルに加え、
「PMO(ピーエムオー)」「H'IO(エイチワンオー)」「
「HIT(エイチワンティー)」など多彩なシリーズを展開。
企業成長や多様化する働き方に対応する
ポートフォリオを構築し、
「すべての人にとって価値のあるオフィスづくり」を
追求し続けます。

野村不動産溜池山王ビル

木質サステナブルオフィス

木材利用推進コンクール『内閣総理大臣賞』受賞
木造ハイブリッド構造による
木質サステナブルオフィス



野村不動産溜池山王ビル

旧野村不動産溜池ビルの建替え事業として2023年10月竣工。
当社の事業企画・監修のもと清水建設の「シミズ ハイウッド®」
を活用した木質建築部材と鉄骨造を合理的に組合せ、高い耐
震性と耐火性を確保しつつ、心地よい無柱の木質オフィス空間
を実現したことが評価され、令和3年度国土交通省のサステナ
ブル建築物等先導事業(木造先導型)に採択されました。木使
用量を最大化しCO₂削減を実現しており、さらに高効率な設
備の導入や事務室照度および電気容量の適正化を図り、標準
ビル比50%以上の一次エネルギー消費量を削減した建築物
としてZEB Ready 認証を取得しております。また、木質内装及
び無柱空間の開放的な空間により、ワーカーの健康と知的生
産性の向上に寄与するオフィス環境を提供いたします。2024年
には「中高層オフィス木質化事例としての貢献が期待される」と
して、木材利用推進コンクール優良施設部門『内閣総理大臣賞』
を受賞いたしました。



野村不動産溜池山王ビル

東京虎ノ門グローバルスクエア

※JV事業

2015年6月、「東京圏国家戦略特別区域における国家戦略都市計画建築物整備
事業」として、内閣総理大臣の認定を受けた再開発事業。2020年、東京メトロ銀
座線「虎ノ門」駅直結の大規模オフィスビルとして竣工しました。臨海部や国際空
港へのアクセス性が高く、国際的なビジネス拠点として機能強化に寄与していま
す。また、プラットフォーム拡幅などによる歩行者ネットワークの形成や、災害イン
フラの整備により、高度な防災都市づくりへ貢献しています。



ラゾーナ川崎東芝ビル



日本橋室町野村ビル



東京虎ノ門グローバルスクエア

ラゾーナ川崎東芝ビル

ビルエネルギー管理システムや高効率機器により、CO₂排出
量を一般オフィスビルの約半分に削減。免震構造や72時間の
BCPインフラ確保など防災体制も強化し、利便性・回遊性の
高い動線プランで駅前の活性化に貢献しています。

日本橋室町野村ビル

400年を超える歴史を持つ日本橋で、「日本橋室町野村ビル」
は周囲の歴史的建造物との調和を図り、省エネルギー対策や
グリーン電力の購入、屋上緑化などにより、エコロジーで安全
な未来型の街づくりを実現しました。東京メトロ「三越前」駅直
結で、商業店舗ゾーン「YUITO」を備え、ビジネス拠点と商業・
サービス拠点が調和した価値を日本橋に刻んでいます。

新宿野村ビル

地上50階・地下5階建て、高さ約200mの超高層複合ビル。
設備や施設の改修を重ね、先進的なビルとして進化を続けて
います。JR「新宿」駅から徒歩7分、約50社の入居テナントと約
40店が集う商業ゾーンにより、賑わいを生み出しています。

横浜ビジネスパーク

相鉄線「天王町」駅徒歩4分の「横浜ビジネスパーク」は、先進の
設備・機能を備えたインテリジェント・シティ。総開発面積
130,000㎡の敷地に、公園「ベリーニの丘」を囲む3つのタワー
棟と低層棟を配置し、オフィス・研究施設・商業施設が集まる
ビジネスステージです。バイオ・半導体・モビリティ等に対応
する高機能な「ラボオフィス」の開発事業も展開しています。



中規模ハイグレードオフィス
PMO

ニーズに応えるために生まれた プレミアム・ミッドサイズ・オフィス

中規模サイズでありながら、大規模ビルと同等の機能性とグレードを備える中規模オフィスビル「PMO（ピーエムオー）」。

ワンフロア・ワンテナント設計を基本に、効率性と独立性・安全性を確保しています。セキュリティレベルは最高5段階まで設定でき、機密情報を扱う企業からも高い信頼を得ています。各種イベントやサービスを通じ、入居企業様同士の交流やビジネスマッチングの場も提供。開発実績累計は70件超(予定含む)となり、今後も快適性と社会的意義に向き合い、新しいスタンダードを創出します。



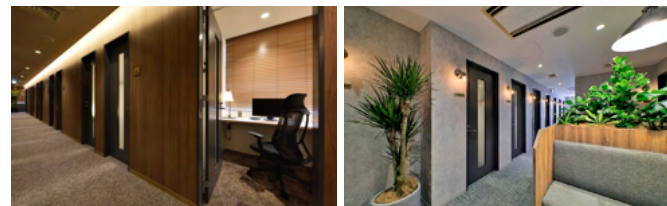
クオリティ・スモールオフィス
H1O

個人の「ポテンシャル」と「創造性」を最大限に引き出す、 新時代のサービスオフィス

「H1O（エイチワンオー）」(Human First Office)は、『人を起点としたオフィス』として、個人の「ポテンシャル」と「創造性」を引き出すサービス付小規模賃貸オフィスです。2名～20名程度の貸室を中心に、専用ラウンジや有人受付、個別空調、生体認証セキュリティを備え、心身ともに健康で快適に働ける空間を提供します。



H1T 新橋汐留口



H1T 西船橋

H1T 西葛西



PMOEX日本橋茅場町(ヒューマンファーストサロン)



H1O 虎ノ門(ラウンジ)



サテライト型シェアオフィス
H1T

「環境や空間、時間に縛られない」という 新しい働き方をサポートするシェアオフィス

野村不動産が提案する、これからの働き方にフィットした時間貸しサテライト型シェアオフィス「H1T(エイチワンティー)」。

「ヒューマンファースト」の価値観を受け継ぐオフィスブランドとして、「個」に寄り添った空間・時間、商品・サービスを通じて、働く人や地域に新しい価値を提供します。首都圏、全国のビジネス都市を中心に、150拠点以上展開しています。

商業施設

お客様の満足度向上を追求した 高品質な運営やサービスを提供し 街に暮らしに新たな価値を

都市型商業施設「GEMS(ジェムズ)」、サービス特化型商業施設「MEFULL(ミーフル)」、地域密着型商業施設「SOCOLA(ソコラ)」をはじめ、「KAMEIDO CLOCK」や「bono相模大野」など複合型商業施設の開発や豊かな時間を提供する施設計画とサービスにより、施設利用者と出店者双方の満足度を追求する商業施設を展開しています。



都市型商業施設
GEMS



MEFULL茶屋町



サービス特化型商業施設
MEFULL

「MEFULL」は、「健康・学び・くらし」の満足度を高めるサービス特化型商業施設です。「It makes ME FULL of happiness!」をコンセプトに、サービス業種を集積し、多様化するニーズに応えます。再生エネルギーの採用や環境認証への参加など、社会課題にも取り組みながら、安心・安全で清潔かつ品格ある施設を目指します。



GEMS立川

GEMS六本木

「GEMS」は、宝石を意味する「GEM」に複数形の「S」を付け、宝石がいくつも集積し「街を幸せにする煌めきを創り出す施設に」という想いが込められています。共通するコンセプトは「大人たちが気軽に普段使いでき、かつ上質な「食」「時間」「空間」をゆっくりと楽しめる施設」。立地ごとに徹底的に調査したニーズを反映させるため、「GEMS」に集められた各店舗は皆、話題性とオリジナリティを兼ね備えています。



SOCOLA所沢



地域密着型商業施設
SOCOLA

「SOCOLA」は、“すぐそこにあるCOMMUNITY LAND”を集約した造語で、「ちょっとソコラでお買い物」という親しみやすさも込められています。住まう方々の利便性を高め、日々訪れたくなるコミュニティを創出。スーパー・物販・飲食・サービス店舗を集積し、地域に親しまれ、暮らしに溶け込む施設を目指します。



KAMEIDO CLOCK

野村不動産グループの総力を結集 亀戸の歴史に、新しい時を刻む生活創造拠点

地域に愛されていた商業施設「サンストリート亀戸」跡地に、新たな商業施設として「KAMEIDO CLOCK(カメイドクロック)」が誕生いたしました。施設名称は、地域に住まう皆様とともに“亀戸”の記憶を紡ぎ、新しい“時”を刻む生活創造拠点になりたいという想いから命名。「LIVE UP! & LOVE LOCAL」をコンセプトに掲げ、さまざまなニーズに応えライフスタイルを支える全130超のテナントが出店の他、eスポーツ専用スタジオやコミュニティスペース、公式YouTubeチャンネルも開設しました。地域課題を解決し、多様なコミュニティ形成や地域の未来を見据えた価値創出を目指す“地域共生”をテーマにした街づくりの核として、「ココロ躍る時」を提供します。



KAMEIDO CLOCK



bono相模大野 / ショッピングセンター

「bono(ボーノ)相模大野」は、小田急線「相模大野」駅前にある大型複合施設。26階建ての「プラウドタワー相模大野」と約1万2000坪のショッピングセンター「bono相模大野」で構成されます。「ボーノ広場」や屋上庭園「saga-niwa(さがにわ)」を設け、地域の交流の場を創出しています。



bono相模大野



「Hi-NODE(ハイノード)」

※ 本施設は、国家戦略特別区域の特定事業である「BLUE FRONT SHIBAURA」の関連事業として、東京都港湾局と連携した「日の出ふ頭小型船舶ターミナル等整備計画」によって運営している施設となります。



Hi-NODE TOKYO
HiNODE PiER

「Hi-NODE(ハイノード)」は、日の出ふ頭に位置し、東京湾を望む開放的なベイスайд施設です。木々に囲まれた芝生広場と東京湾を望む2つのカフェ・レストランがあり、広場と店舗を貸切ってのイベントも可能です。観光客や地域の人々が集う憩いの場で、日の出と竹芝を結ぶ連絡橋の夜景も魅力です。

物流施設

空間提供の領域を超えた

“付加価値創出”の共創拠点へ

課題解決の一步先へと共創する、

物流の変革パートナー

高機能型物流施設「Landport(ランドポート)」や、物流オペレーションの最適化を目指す企業間共創プログラム「Techrum(テクラム)」を通して、企業の課題解決に貢献するとともに、倉庫内で働く人々や環境にも配慮した施設づくりに取り組んでいます。



Landport横浜杉田



物流施設
Landport

お客様のパフォーマンスを、一つ上の次元へ
絶え間なく人とモノが行き交う「地上の港」

「Landport」は、お客様に新しい選択を創造する、ロジスティクス共創拠点をコンセプトとする物流施設。全国主要エリアでの開発実績をもち、テナントのニーズに応じた施設提供を実施。高い保管効率や人材確保への配慮、環境対策やBCP対策にも優れたサステナブルな施設を展開しています。また、企業間共創プログラム「Techrum」などを通じ物流の課題解決に向けたソリューション開発を行っています。



物流課題解決のための
オープンイノベーションプログラム
「Techrum」

カテゴリー
マルチ

マルチテナント型の要素を残しつつ、
将来の物流自動化を見据え
オペレーションの最適化を

「Techrum」は、野村不動産が核となり、物流関連技術を有する企業各社と連携する企業間共創プログラムです。荷主・物流企業の課題解決に向け、ソリューションを開発・提供。「習志野Techrum Hub」では、30社70種類以上の機器を展示し、効果検証を通じて早期解決・人材不足解消を目指します。

カテゴリーマルチとは、マルチテナント型、BTS型^(※)の良さを併せ持つ物流施設のあり方です。お客様の業種を特定し、オペレーション効率の最大化と自動化を見据えた施設設計を実現します。



※BTS型: Build To Suitの略。テナントの要望に応じて建築された「オーダーメイド型」の物流施設のこと

海外

商品企画・サービスのノウハウを活用し、
成長著しい東南アジア諸国を中心に
住宅分譲事業・賃貸事業を展開

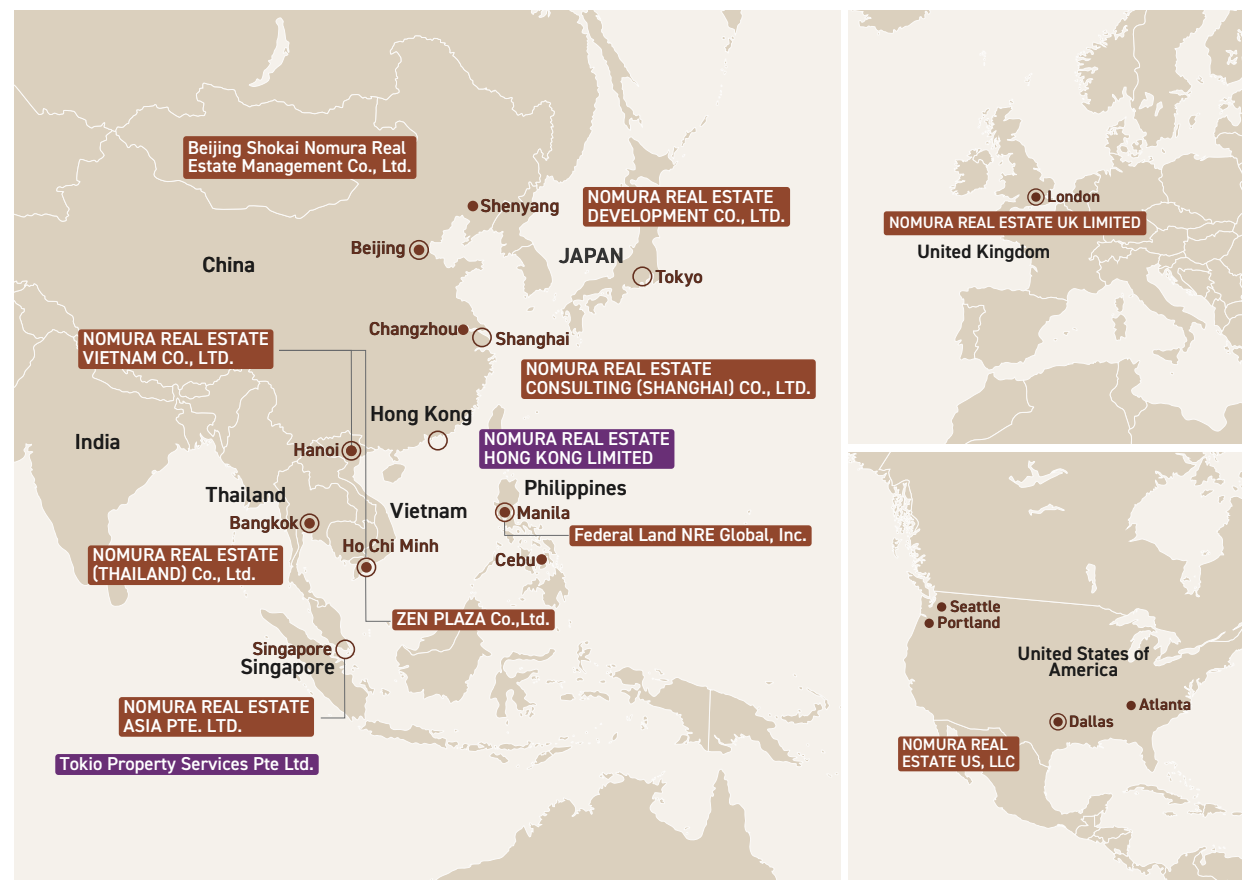
野村不動産グループでは、
各国の優良企業とパートナーシップを結び、
現地により深く根ざした事業体系を構築しながら、
ベトナム・タイ・中国・フィリピンなどの国々で事業を展開。
また、2021年より英国でのオフィス開発事業、
2022年より米国での賃貸住宅開発事業にも参入。
新たな国での事業展開を図り、海外事業全体の
ポートフォリオを強化します。日本国内で培ってきた
開発・運営・不動産関連サービスに関する
ノウハウの活用や独自のマーケットイン発想を活かして、
各国の潜在的ニーズを読み解き、
付加価値を備えた商品・サービスを提供しています。



Vu Yen

海外拠点及び参画事業

● Cities with projects ■ Development ■ Brokerage □ Asset Management



参画事業および、竣工事例

Vietnam

Vu Yen



- 所在地：ベトナム・ハイフォン
- 主要用途：分譲住宅
- 総戸数：1,550戸
- 竣工：2024年

Thailand

ホイクワン



- 所在地：タイ・バンコク
- 主要用途：分譲住宅
- 総戸数：342戸
- 竣工：2023年

PARK Origin Thonglor



- 所在地：タイ・バンコク
- 主要用途：分譲宅地
- 総戸数：1,182戸
- 竣工：2022年

Philippines

ザ・シーズンズレジデンス



- 所在地：フィリピン・マニラ
- 主要用途：分譲住宅
- 総戸数：約1,400戸(4棟)
- 竣工予定：2027年

The Observatory



- 所在地：フィリピン・マニラ
- 主要用途：分譲住宅・商業
- 総戸数：650戸
- 竣工予定：2030年

※総戸数・竣工予定についてはSORAタワーのみ対象

YUME at Riverpark



- 所在地：フィリピン・カビテ
- 主要用途：分譲宅地
- 総戸数：約300戸(300~527㎡)
- 竣工予定：2026年

United Kingdom

127 Charing Cross Road



- 所在地：イギリス・ロンドン
- 主要用途：オフィス・店舗
- 専有面積：約5,200㎡
- 規模：地上7階・地下1階
- 竣工：2024年

The Fitzrovia



- 所在地：イギリス・ロンドン
- 主要用途：オフィス・店舗
- 専有面積：約8,020㎡
- 規模：地上6階・地下2階
- 竣工：2025年

Press Block プロジェクト



- 所在地：アメリカ・オレゴン州ポートランド
- 主要用途：賃貸集合住宅・オフィス・商業
- 規模：賃貸住宅 24階・地下5階／
 オフィス・商業 地上4階・地下4階
- 総戸数：341戸
- 専有面積：オフィス等約3,000㎡
- 竣工予定：2025年

新たな成長戦略の実現に向けて

私たちを取り巻く環境は大きく変化し、不動産に関わる課題やニーズも、今までにはない様々な要素が顕在化してきています。野村不動産では、生活スタイルの変化や社会課題の解決につながる新領域事業の開拓を通じ、より価値の高い複合開発事業を担います。ホール・アリーナなど、街の核となる機能を取り入れた街づくり、世の中のまだ見ぬニーズに応えられる新たな価値の創出を進めていきます。

■ 公有地の活用（官民連携事業）

既存建物や都市機能の再整備とともに地域の課題解決に応えます

宇都宮駅東口地区整備事業（ライトキューブ宇都宮 他）

宇都宮市有地を活用した複合開発事業。
野村不動産は大ホールを含むコンベンション施設や住宅を整備。

- 所在地：栃木県宇都宮市宮みらい
- 交通：JR東北新幹線・宇都宮線「宇都宮」駅 徒歩2分
- 敷地面積：約2.6ha
- 主要用途：コンベンション施設、住宅、商業、ホテル、病院等
- 竣工：2022年



新港地区客船ターミナル等整備事業（横浜ハンマーヘッド）

横浜市が運営する客船ターミナルを民間資金を活用して整備すると共に、飲食施設やホテル等を一体で開発。

- 所在地：神奈川県横浜市中区新港
- 交通：横浜高速鉄道みなとみらい線「馬車道」駅 徒歩10分
- 敷地面積：約1.7ha
- 主要用途：客船ターミナル、商業、ホテル等
- 竣工：2019年



■ 新領域事業 多様化するニーズに合わせ、当社既存事業に捉われない事業展開を推進します



ホール・アリーナ事業

トキ消費の盛り上がりから、音楽・アニメ・ゲームなどのエンターテインメントコンテンツの広がり、新たなプロスポーツリーグ設立に向けた動きなど、ライブ・エンターテインメント市場やプロスポーツ市場が拡大しています。コンテンツをリアルで発信する場として、ホール・アリーナへのニーズが高まっていることから、ホール・アリーナの整備・運営や興行事業に取り組み、新たな体験価値創造を目指します。また、ホール・アリーナの賑わいを生み出す力は商業やホテルなど既存事業領域との親和性が高いことから、人が集まり賑わう新たな街づくりにも取り組みます。

■ 国立大学法人土地利活用と産学連携

大学法人や企業と共創し、事業機会の創出を目指します

東京科学大学[※]

越中島地区土地活用事業

東京医科歯科大学（当時）が東京都江東区越中島一丁目に保有する土地の有効活用事業です。東京医科歯科大学（当時）と野村不動産は、野村不動産グループの開発・運営ノウハウの活用を目的に、2023年3月に基本協定書を締結しました。また、2023年7月、2023年11月に共同研究契約を締結し、全世代の未病予防、健康維持・増進やQOL向上をテーマに共同研究を実施。2024年3月には本事業に係る事業契約および一般定期借地権設定契約を締結し、「いる（住む・来る）だけで健康になる街づくり」の実現に向けて推進してまいります。

※2024年10月、東京医科歯科大学と東京工業大学が統合し、東京科学大学（Science Tokyo）が設立されました。

お茶の水女子大学

同窓会館跡地整備事業

お茶の水女子大学が東京都文京区大塚二丁目において保有する同窓会館跡地の有効活用事業。お茶の水女子大学創立150周年記念事業として、歴史と伝統を受け継ぎながら新しい知性と価値を育む拠点づくりを目指します。「理工系人材・女性リーダーの育成機能」、「産学官の連携機能強化」、「歴史をつなぐ拠点としての機能」、「地域貢献の機能」、「学外連携ゾーンの一帯的な機能」を本事業の整備方針とし、低層階に大学施設として記念ホール、産学・地域連携スペース、広報ギャラリーを、高層階に住宅を中心とした整備事業の検討を進める予定です。



左から
東京医科歯科大学：飯田 香緒里（副理事）、
山田 素子（理事・副学長）、東條 有伸（理事・副学長）、
廣川 和憲（理事・副学長）、田中 雄二郎（学長）
野村不動産株式会社：松尾 大作（代表取締役社長）、
中村 治彦（取締役専務執行役員）、梶 貴之（常務執行役員）、
澤井 一郎（リレーション推進部長）

※掲載の肩書は2024年10月時点



写真左：お茶の水女子大学 学長 佐々木 泰子
写真右：野村不動産 代表取締役社長 松尾 大作

※掲載の肩書は2024年10月時点

リゾート・コンドホテル事業

リゾートエリアにおける分譲型ホテル「コンドミニウムホテル」の事業化に取り組んでいます。2024 年4月には西武ホールディングス、西武不動産と野村不動産にて「軽井沢千ヶ滝プロジェクト」について共同開発に向けた基本協定書を締結いたしました。本プロジェクトでは、西武グループが所有する約22haの広大な敷地を活用し、次世代のリゾートの在り方を見据えた大規模複合開発を行う予定です。

あしたを、つなぐ

私たちは、人、街が大切にしているものを活かし

あした
未来につながる街づくりとともに、豊かな時を人びとと共に育み

社会に向けて、新たな価値を創造し続けます。

グループシンボル「ユナイテッド N」

野村不動産グループのシンボル「ユナイテッド N」は、

私たちグループ社員一人ひとりがつながり、

そして、お客様や社会と私たちがつながることによって、

より良き明日、未来をつくりあげていきたいという、私たちの想いを象徴するデザインです。

オレンジ色には「ホスピタリティ」と「挑戦心」、

紫色には「独創性」と「品格」という意味を込めています。

鮮明なオレンジ色と紫色の2色構成で、

野村不動産グループの未来への明確なビジョンと意志の強さを表現しています。



グループ企業



※野村不動産ホールディングスの主な連結子会社を掲載

沿革

1957 - 野村不動産 設立	2002 - 住宅の統一ブランド「PROUD」発表
1959 - 宅地建物取引業者 一級建築士事務所の登録実施 / 不動産仲介業務を開始 / 当社関連会社「野村ストア」を設立	2007 - Landportシリーズ第1号「Landport厚木」竣工
	2008 - PMOシリーズ第1号「PMO日本橋本町」竣工
1960 - 「江戸橋ビル」の開発で、ビル賃貸事業を拡大	2012 - GEMSシリーズ第1号「GEMS渋谷」開業
1961 - 「鎌倉・梶原山住宅地」の開発で、宅地開発事業を開始 / 「大阪・枚方住宅地」の開発で、関西エリアにおける宅地開発事業を開始	2015 - 「NOMURA REAL ESTATE ASIA」設立
	2016 - 「NOMURA REAL ESTATE HONG KONG LIMITED (野村不動産香港有限公司)」設立
1963 - 横浜市中区で分譲マンション「コープ竹の丸」を着工、マンション分譲事業に進出	2018 - NOHGA HOTELシリーズ第1号「NOHGA HOTEL UENO」開業 / 「北京首開野村不動産管理」設立
1970 - 「野村不動産」と「野村不動産土地建物」へ分離、野村証券関連部門から分離し、独自経営へ	2019 - H'Oシリーズ第1号「H'O日本橋室町」開業 / H'Tシリーズ第1号「新宿西口」開業 / 「NOMURA REAL ESTATE VIETNAM CO.,LTD」設立 / 「NOMURA REAL ESTATE (THAILAND) CO.,LTD」設立
1978 - 東京都新宿区に「新宿野村ビル」を竣工し、本社を同ビルに移転	
1982 - 「野村住宅流通センター」をスタートし、流通業務を拡大 / 「コープ野村亀戸」の販売を開始、大型マンションを展開	
	2020 - SOCOLAシリーズ第1号「SOCOLA若葉台」開業 MEFULシリーズ第1号「MEFULL茶屋町」開業
1986 - 当社初参画の市街地再開発事業、「コアスターレ西大井」竣工	
1990 - 「横浜ビジネスパーク」一部竣工	2021 - 「野村不動産諮詢(上海)有限公司」設立
1995 - メガロスブランド第1号「メガロス草加」開業	2025 - 東京都港区に「BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S」を完成し、本社を同ビルに移転
1999 - 不動産情報サイト「ノムコム」スタート	
2000 - 「野村不動産アーバンネット」設立 (現 野村不動産ソリューションズ)	

会社概要

■商号:野村不動産株式会社(Nomura Real Estate Development Co., Ltd.)

■設立:1957年4月15日

■資本金:2,000百万円(2026年3月31日現在)

■代表者:代表取締役社長 松尾 大作

■本店所在地:東京都港区芝浦一丁目1番1号 BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S

■従業員数:2,180名(2026年3月31日現在)

■事業内容:マンション分譲事業／戸建分譲事業／投資・開発事業／ビルディング事業／建築・設計事業／資産運用事業など

■宅地建物取引業者免許:国土交通大臣(14)第1370号

■一級建築士事務所登録:本社/東京都知事第11565号

■建設業許可:国土交通大臣(特-7)第361号

■加盟協会:一般社団法人 不動産協会 公益社団法人 首都圏不動産公正取引協議会 ほか

※野村不動産会社案内2026年7月発行

※表紙掲載の写真は2024年4月に撮影したものに「BLUE FRONT SHIBAURA」完成予想図をCG加工したもので実際とは異なります。
また、今後変更になる場合があります。



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料でつくられています。